

第1回 茂原市公共施設のあり方検討委員会 概要

開催日時

平成27年5月22日（金）14時30分～16時45分

開催場所

茂原市役所 502 会議室

出席者

委員 11名（欠席1名）

事務局 4名

委託業者 3名

会議次第

- 1、開会
- 2、副市長あいさつ
- 3、委嘱状交付
- 4、委員紹介
- 5、委員長及び副委員長の指名
- 6、議事
 - 1) 会議の公開について
 - 2) 公共施設の現状と課題について
 - 3) 意見交換、今後の進め方について
 - 4) その他
- 7、閉会

【1、開会】

【2、副市長あいさつ】

・副市長の永長でございます。

本日は田中市長が公務のため、代わりに私の方からご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃より本市の市政各般にわたりご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

このたびは、公共施設のあり方検討委員会の委員をお引き受けくださり、誠にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。

本市におきましても公民館をはじめ、保育所、市営住宅などの公共施設や橋梁などインフラ施設の老朽化により、維持補修に掛る経費がますます増大していくことが予想されます。

副市長

今後、人口減少、特に労働人口の減少による限られた財源の中で、持続可能な公共施設サービスを提供していくためには、施設のあり方を考えていかななくてはいけない状況となっております。

本委員会は、市の現状や公共施設の課題について、市だけで考えるのではなく学識者のアドバイスを頂きながら公募で募った市民の皆さんと一緒に、今後の公共施設のあり方について検討して頂き、公共施設等総合管理計画の策定につなげていくために設置されたものでございます。

ご列席の皆様は、それぞれの分野でご活躍いただき、また、これまで培われました幅広い御経験、御見識で忌憚のない御提言を賜りますよう、心からお願い申し上げます、はなはだ簡単ではございますが、私からのあいさつと代えさせていただきます。

本日はご苦勞様でございます。

【3、委嘱状交付】

副市長及び各委員

- ・各委員へ委嘱状を交付

【4、委員紹介】

- ・各委員自己紹介
- ・事務局及び業務委託業者の紹介

【5、委員長及び副委員長の指名】

- ・委員長に五十嵐委員、副委員長に土田委員が選任

【6、議事（1）会議の公開について】

事務局

・会議の公開について説明。平成25年度より各種審議会・委員会では原則公開することとなっている。本委員会も公開することを委員皆さんに了承をいただきたい。

各委員
事務局

- ・了承。
- ・今後、ワークショップや現地視察等を除き、原則公開とし、この後の議事から公開させていただきます。

本日は傍聴希望者が0名。

【議事（2）公共施設の現状と課題について】

事務局

- ・茂原市公共施設白書の概要について説明。

【議事（3）意見交換、今後の進め方について】

ここからは五十嵐委員長による進行。

【主な質疑応答】

- 委員長
委員
事務局
委員長
委員
事務局
委員
事務局
委員
事務局
委員長
事務局
委員長
委員
委員長
- ・ただいま事務局から公共施設の現状と課題について説明いただきましたが、分からない点、疑問などはありますか。
 - ・公共施設の維持にコストが掛かることは分かりました。将来的に人口が減って収入の減ることが予想されますが、税収の予測に税率が変わることは考慮されていますか。
 - ・税率の変更はさまざまな要因を考慮しなければなりませんので、現段階では含めていません。
 - ・例えば物価が高くなれば税収はさらに変わってくることも考えられますし、企業誘致ができれば税収は増えますが、逆のリスクも考えられます。また扶助費等の増額も考えられますし、そういったことを考慮してシミュレーションをした試算ではないということとなります。
 - ・資料 P14 の説明をお願いします。
 - ・平成 24 年度は、土地開発公社に係る債務償還から第三セクター等改革推進債に変更したため、普通建設事業費の減少が見られます。債務負担行為は将来いくらかかるか約束するもので、いままでその返済は大きな負担でした。平成 24 年度に地方債として 30 年で返済することと決め、毎年の財政負担を軽減することにしました。しかし、市の借金はまだまだ年間 5 億円ぐらいは多く返済していかなければならないのが現状です。
 - ・資料 P9 の自主財源の内訳は？
 - ・使用料及び手数料は市で発行している書類の手数料、体育館などの使用料、寄付金や土地を貸している際に得る収入です。
 - ・毎年支払っている借金について、大元の借金は増えているのですか？支払いは借金が増えているから、毎年の支払額が増えているのでしょうか。
 - ・借金は主に地方債と債務負担行為の返済。実際の元本は、学校の耐震などで起債が増えることもありますが、全体では借金を増やすようなことはしないような範囲で財政運営をおこなっているものとしています。市の方で起債をする場合は、上限は超えないようにしています。
 - ・財政運営の方向としては、元本返済額を超えないように計画をしているということで良いでしょうか。
 - ・はい。
 - ・地方債を増やすわけにはいかないということでしょう。茂原市の財政状況を考えると公債費の割合は少なくないと思われます。
 - ・資料 P4 の人口の推移について、個人的には予測が甘いのではないかと思います。
 - ・あくまでもこれは社会保障人口問題研究所の推計値なので、な

- んとも言えません。市が企業誘致などを行えば増えるであろうし、がんばらなければ、もっと減っていくことも予想されます。
- 委員
・建築物の総延床面積にはどういう意味があるのですか？例えば公園では建築物の面積ではなく、施設の面積で考えた方が分かりやすいと思います。
- 委員長
・公共施設全体をどう捉えるかということですが、延床面積でとらえることが一般的になっています。他都市とも比較がし易く、築年別推移も分かると思います。
現状は、公共建築物の老朽化が問題になっていて、建物の老朽化は安全性に関わることです。公園のフェンス等は、補修費はあまり大きくかかりません。
全国の自治体では一般的に学校のウエイトが大きく、ここをどうしていくのか検討していかなければならない状況です。公営住宅は自治体によってまちまちで地域柄が出ますが、茂原市は標準的という印象です。
- 委員
・資料 P10 の市民税と法人税について、法人税はこんなものなのでしょうか。
- 委員長
・市町村に降りてくる法人税はそんなに多くありません。多いにこしたことはありませんが、多すぎるとリスクに繋がることもあります。会社が経営難になると法人税は下がるので、依存し過ぎると財政が不安定になりがちです。
- 委員
・資料 P28 の更新費用について、とんでもない額になっていて、現在の財政を考慮すると絶対出せないと思います。先程、実現可能な財政計画と言われていましたが、とてもじゃないが、実現できるような数字ではないと思います。今までやったことのないような革新的なことをしていく必要があると思っていますが、2年間のうちに何ができるのか。
- 委員長
・そういう認識を持っていただけるのは大変良いことだと思います。立ち止まっているのはよくない。そうしているうちに老朽化した物ばかりになってしまいます。どうにか進めないといけない。
- 委員
・人数の少ない学校は無くしてしまうという考えは寂しいと思います。
- 委員長
・地域性を考慮して、コミュニティ等色々なことを考えて、施設の役割を皆様のアイデアを頂きながら、考えていくことも必要になると思います。
- 委員
・先程も今後どうやっていくのかという話が出ましたが、実際に今までどのようなことをしてきたのかということも機会があれば教えていただきたい。
- 委員
・一般の主婦には難しい内容だと思いました。
- 委員長
・分からないことがあれば、市の担当者に電話していただければ

委員	<p>と思います。少しでも良くしていくために、身近な施設がいまどうなのかと言う視点の意見をいただければよろしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設カルテ」については、また改めて拝見させていただきたい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・紙にすると量が多いのでホームページに公開しています。 ・公共施設だけではなく、民間施設の状況を教えて欲しい。茂原市の総合計画や防災マップ等の情報が欲しいです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと一緒に考えていかなければならないという視点は重要です。地区によって必要な施設・機能を考えていかなければならない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を利益になるものに変える方向で考えていくことも必要だと思います。
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう発想が全国的にも徐々に始まっています。 ・資料 P28 の更新費用の試算は現状を知るためのもので、本当に改修しなければならないかどうかの吟味は必要になると思われます。また、試算の単価は総務省の共通なものなので、茂原市の単価はもっと安いと思われます。後日可能であれば茂原市の平米単価と、あと職員数の割合を教えてください。
副委員長	<p>どこの自治体も大変です。職員としては、こういった場で市民に意見を言ってもらえるのはエネルギーになるので、皆さんに是非いろいろ意見をいただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験からいくつか事例を紹介します。 <p>まず、ある事例では、昭和 5 年に建てられた公共施設の改修事業で、地元住民の方々と市とでは意見が違っていました。公共施設そのものに人の気持ちがついて回っていると感じました。</p> <p>また、別の事例では、20 あった小中学校を統廃合して、1 施設にした事業に携わりました。現在はスクールバスが村を駆け回っていますが、市民からは学校から児童の声が聞こえなくなって寂しくなったと意見がありました。</p> <p>他にも、道路・公園などを作る際には、国の補助金に頼らず市民の意見を取り入れたデザイン、エリアマネジメントが必要であると思っています。地域の自主財源を活用しながら、まちづくりに対する夢みたいなものをご意見だしていただければと思います。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金をもらおうと用途に制約が出てきます。もらえるものはもらった方がいいが、これからは民間資産などを活用した考えも重要です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすために公共施設をどうするかではなく、逆ではないかと考えます。いろんなことが集まって、住みたいまちになるのではないかと思います。どんなまちにしたいか、大きなテーマ

委員長

を見据えないと方向性が見えてこないと思いました。

・将来のまちをどうしたいか、それに必要な機能は何かを考えていく必要があります。単純な話しではないので、施設がどうこうではなく、ソフト面でも実現できるものはある。単純に施設を減らせばいいというものではないと思います。多面的視点を持って議論していかないと、これだけのギャップを埋めることはできないので考えていきたい。

【7、閉会】